

女子栄養大学香友会 創設80周年記念事業について



香友会創設80周年記念事業実行委員長

山下 静江

[学部昭和40年卒業]

香友会創設80周年記念事業についてご紹介いたします。

「女子栄養大学香友会創設80周年」の本年、記念に残る周年事業を開催する案が令和3年1月の常任幹事会、同年3月の幹事会にて審議、承認されました。この結果を受け、第15代香友会会長の下に常任幹事で構成する記念事業実行委員会を設けました（下記参照）。

新型コロナウイルスのため、様々な制限がある中、「収束の見通し」もつかない状況の下で記念事業として何ができるか鋭意検討した結果、お届けする「80周年記念誌の発行」に加え、「オンライン配信による記念講演会の開催」と「坂戸校舎への記念植樹」の三事業が決定しました。

記念講演会の統一テーマは、「食からSDGs（持続可能な開発目標）を考えよう」です。国際社会の共通目標として2030年までに達成すべきSDGs 17項目は既に積極的な取り組みが各方面で実施されています。本講演会では、基調講演「持続可能で健康的な食事のあり方：食でSDGsの達成に貢献しよう」武見ゆかり氏（女子栄養大学教授、栄養士科昭和61年卒業、大学院修士昭和63年修了）をはじめ、講演①「『食』の現場よりサステナブルな世界の実現に向けて」佐藤愛香氏（コンパスグループ・ジャパン株式会社管理栄養士、学部昭和62年卒業）、講演②「家庭科教育におけるSDGsの今までとこれから」池辺春菜氏（瀧野川女子学園中学高等学校 家庭科主任、学部平成29年卒業）、講演③「Cooking is Beyond a Pleasure! - 料理とは喜びを超える存在である - 」桂有紀乃氏（ニューヨーク「Bouley at Home - Living Pantry - 」メニュー開発シェフ、専門学校テクニクコース 平成17年3月卒業）の3名の食の最前線で活躍する卒業生にSDGsの取り組みを実例に即して話していただき、令和3年11月より12月末まで配信しました。

記念誌については、創設70周年の節目から現在に至る10年の香友会活動を、新支部発足、ブロック活動、わかば奨学生の現況、災害が多かったこの10年を振り返り苦難を乗り越える会員、更に対談形式で未来に向けて今後の活動に期待すること等としました。

「坂戸校舎への記念植樹」は、香川綾先生がお好きだった桜を、令和4年の新年度を目途に植える計画です。春に大空に向かって両手を広げるように美しく咲く希望の樹、学園発祥の地ゆかりの染井吉野を、若人の溢れる希望を温かく見守って欲しいとの同窓生の願いを込めて植えたいと思います。

香友会創設80周年記念事業実行委員会

委員長	山下 静江
委員	総務／成瀬克子、小野裕美、福田加代子 会計／岡野治恵 講演会／澤坂明美、石田裕美、新出真理、米原恭子 記念誌／磯田厚子、権平康子、岩間範子、古川知子、 山崎孝子、持田成子、吉田由理子
事務局	村田純子、金成康子